

開創1200年記念事業

最新の調査成果をもとに未紹介資料を一挙公開

木山寺・木山神社の宝物とその歴史



絹本着色阿弥陀三尊十仏来迎図

(岡山県指定重要文化財、南北朝時代、木山寺蔵)

2015年10月9日(金)～11日(日)

10時～16時30分

於 木山寺 客殿・大師堂

リレー講座

神と仏に祈る山 —木山寺と木山神社—

日時 2015年10月10日(土)

14時～(開場13時30分)

場所 木山寺客殿(定員50名) ※資料代300円

●神仏習合思想の変遷と 木山寺・木山神社

伊藤 聰(茨城大学人文学部教授)

●木山をめぐる寺史と神社史 —地域史的な観点から—

森 俊弘(真庭市教育委員会主幹)

●木山神社の神像と

木山寺の遣迎二尊十王十仏図

和田 剛(岡山県立博物館学芸員)

司会・コーディネーター:中山一麿(大阪大学)

【同時開催】

◆開創1200年記念事業「木山寺本堂鎮守殿の秘仏ご開帳」
10月9日(金)～11日(日) 10時～16時 於 木山寺本堂
※鎮守本尊(木造牛頭天王坐像、木造善覺稻荷坐像)を
特別公開します。

◆木山神社鎮座1200年「奥宮修繕事業竣工奉祝祭」
10月11日(日) 9時45分～ 於 木山神社奥宮・里宮

お問い合わせ 中山一麿 E-mail:knpro.info@gmail.com 本展公認サイト <http://jarsa.jp/kiyama2015/>

主催 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(B)研究課題番号:15H03181 研究代表者 中山一麿(大阪大学)

共催 医王山感神院木山寺(高野山真言宗別格本山)・木山神社(南三郷総氏神)

協力 岡山県立博物館・真庭市教育委員会

木山寺・木山神社の宝物とその歴史展

木山寺と木山神社は、美作国西部にあって隣接して所在し、古くは、所在地や由来など歴史を同じくする、神仏混淆の寺社でした。今年、平成27年は、開創した年から数え、およそ1200年を迎える節目の年とされております。

本展示は、この記念すべき機会に向けて行った木山寺所蔵典籍を中心とする学術調査で明らかとなつた中世期写の典籍20点余りのほか、本調査がきっかけとなって発見された江川三郎八の建築を証す棟札、奥宮拝所造営開始時に発見された神像群など、近年のこれらの寺社での調査成果を一挙に公開するまたとない機会となります。深遠な中国山地奥深くで展開されてきた神と仏への祈りの世界を体感していただきたいと思います。



阿嚕力迦絆「神護寺絆」(平安時代、木山寺藏)



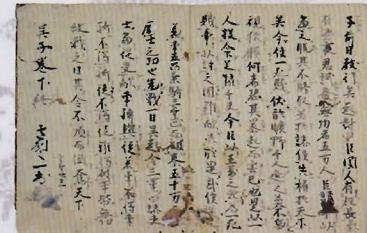
棟札
(元禄2年、木山神社蔵)



木造門客人神立像(応永3年、木山神社)



御神像群(鎌倉・室町時代、木山神社蔵)



吳子書(室町時代、木山寺藏)

主な展示品

《木山寺藏》

絹本着色遣迎二尊十王十仏図(鎌倉時代)

絹本着色阿弥陀三尊十仏来迎図(南北朝時代)

絹本着色十三仏図(室町時代) ※以上、岡山県指定重要文化財

客殿障壁画(古市金餓、岸良、鶴沢探索等、江戸後期)

木山寺中世文書(裏庭市指定重要文化財)

聖教類(新出中世期写本約20点、他

《木山神社藏》

御神像群(鎌倉・室町時代)

棟札類(江戸時代)

医王山感神院木山寺

〒719-3142 岡山県真庭市木山1212

TEL 0867-52-0377

URL <http://www.kiyamaji.jp>

交通案内

- 中国自動車道 落合ICから7km、車約15分
 - JR姫新線・美作落合駅下車、タクシー約20分
 - 中国ハイウェイバス・落合IC下車、タクシー約15分



※駐車場あり(約100台)。高速バス・JR(美作落合駅)等をご利用の方は、送迎またはタクシーをご利用ください。
※送迎については本展公認サイト(日本学術研究支援協会URL:<http://jarsa.jp/kiyama2015/>)にてご案内いたします。